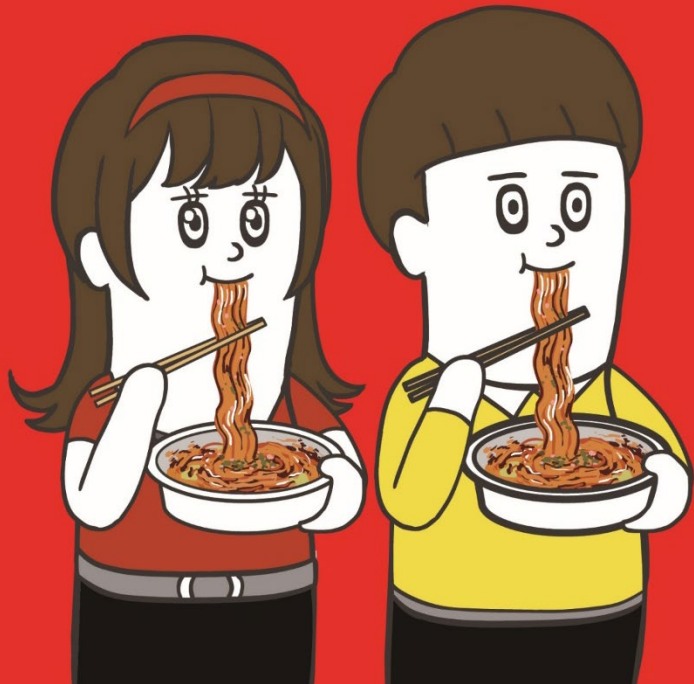


第76期
定時株主総会

 日清食品ホールディングス株式会社

2024年6月26日(水)



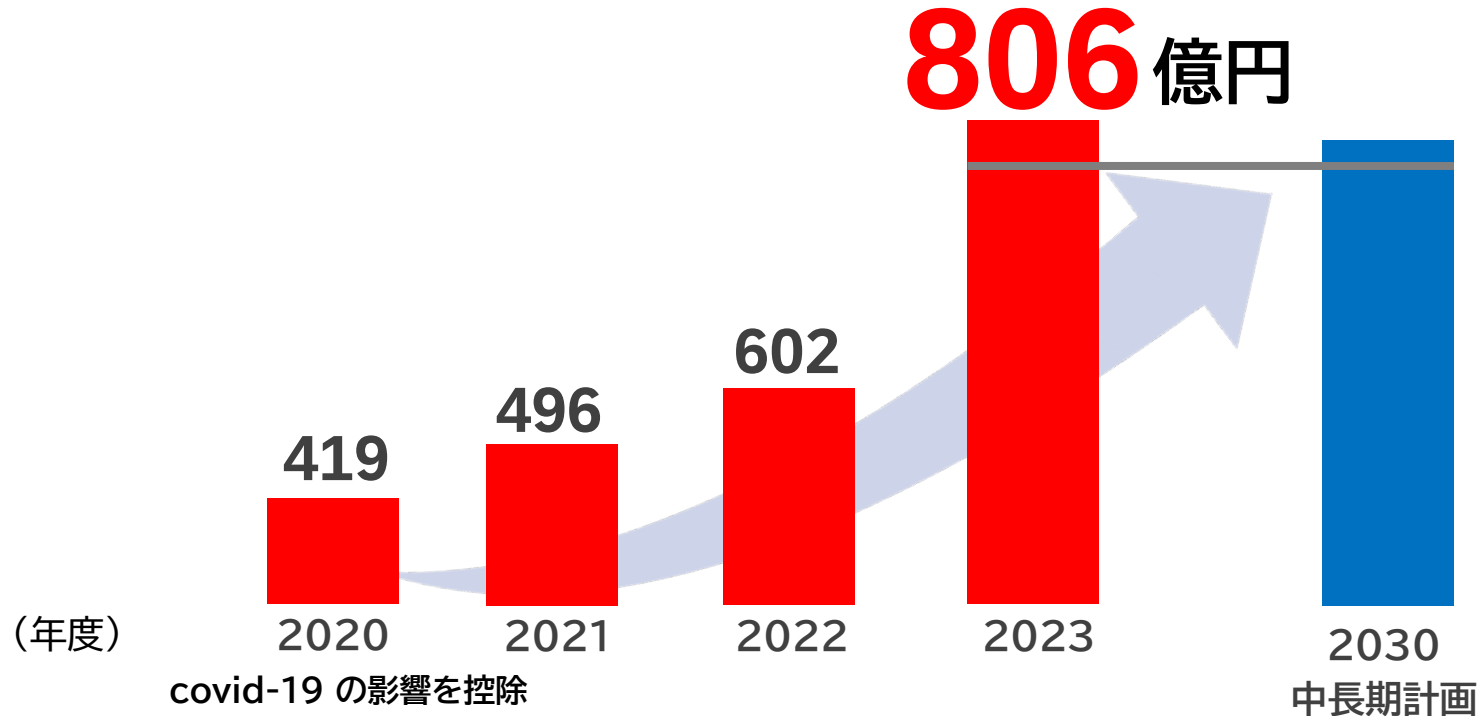


1. 本文中に特別な記載がない限り、本事業報告中の記載金額及び株式数は、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。
ただし、億円単位の表示は億円未満を四捨五入し、また、基本的1株当たり当期利益(1株当たり当期純利益)、1株当たり親会社所有者帰属持分(1株当たり純資産)及び百分率については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。
2. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

中長期成長ストーリー

日清食品HD 既存事業コア営業利益

中長期経営計画2030の目標を7年早く達成



成長一路、頂点なし

Next Milestone

売上収益

1兆円

コア営業利益*

1千億円

時価総額

2兆円



中長期的な経済価値ターゲット

① 成長性 **NEW**

既存事業コア営業利益成長率 **Mid-single Digit** (5%程度の成長)

② 効率性 **NEW**

ROE(自己資本利益率) 2030年度までを目途に **15%** (23年度 11.7%)

③ 安全性

純有利子負債/EBITDA倍率 \leq **2倍**

④ 安定的株主還元

累進的配当(減配なし)、自己株式取得、
 相対TSR $>$ **1倍** (TOPIX食料品対比)



中長期成長戦略2030の骨子

既存事業のキャッシュ創出力強化

EARTH FOOD CHALLENGE 2030

新規事業の推進



中長期成長戦略2030の骨子

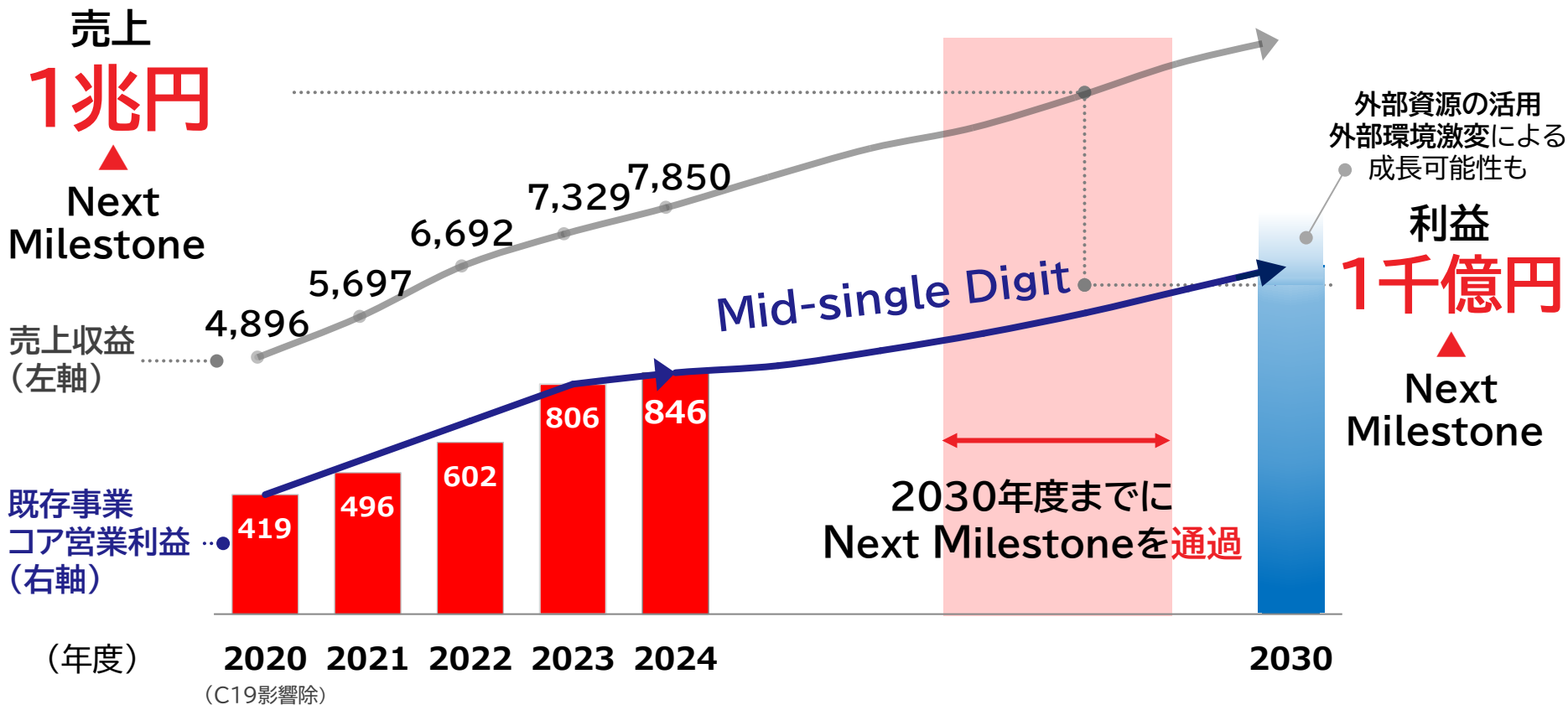
既存事業のキャッシュ創出力強化

EARTH FOOD CHALLENGE 2030

新規事業の推進



新・中長期成長戦略の成長イメージ

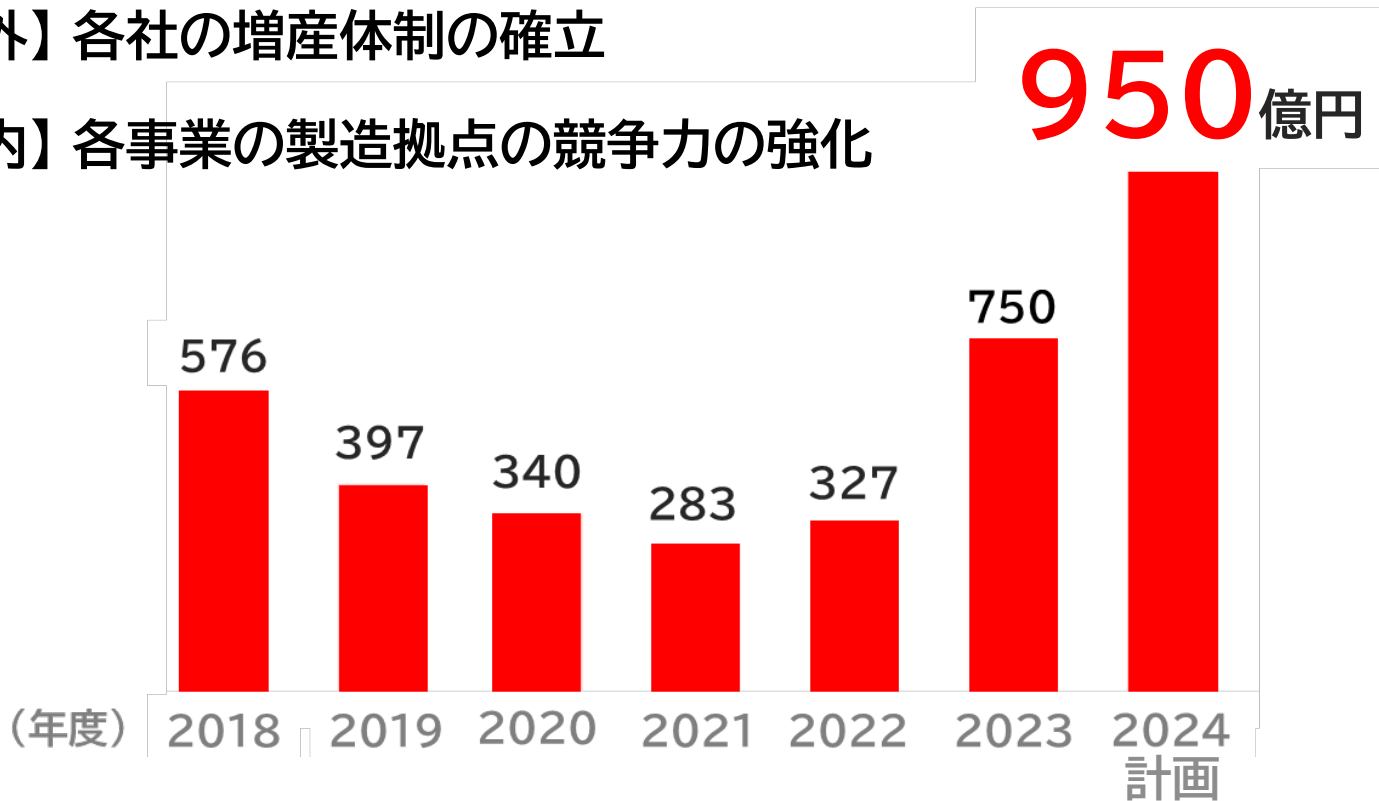




設備投資額 推移

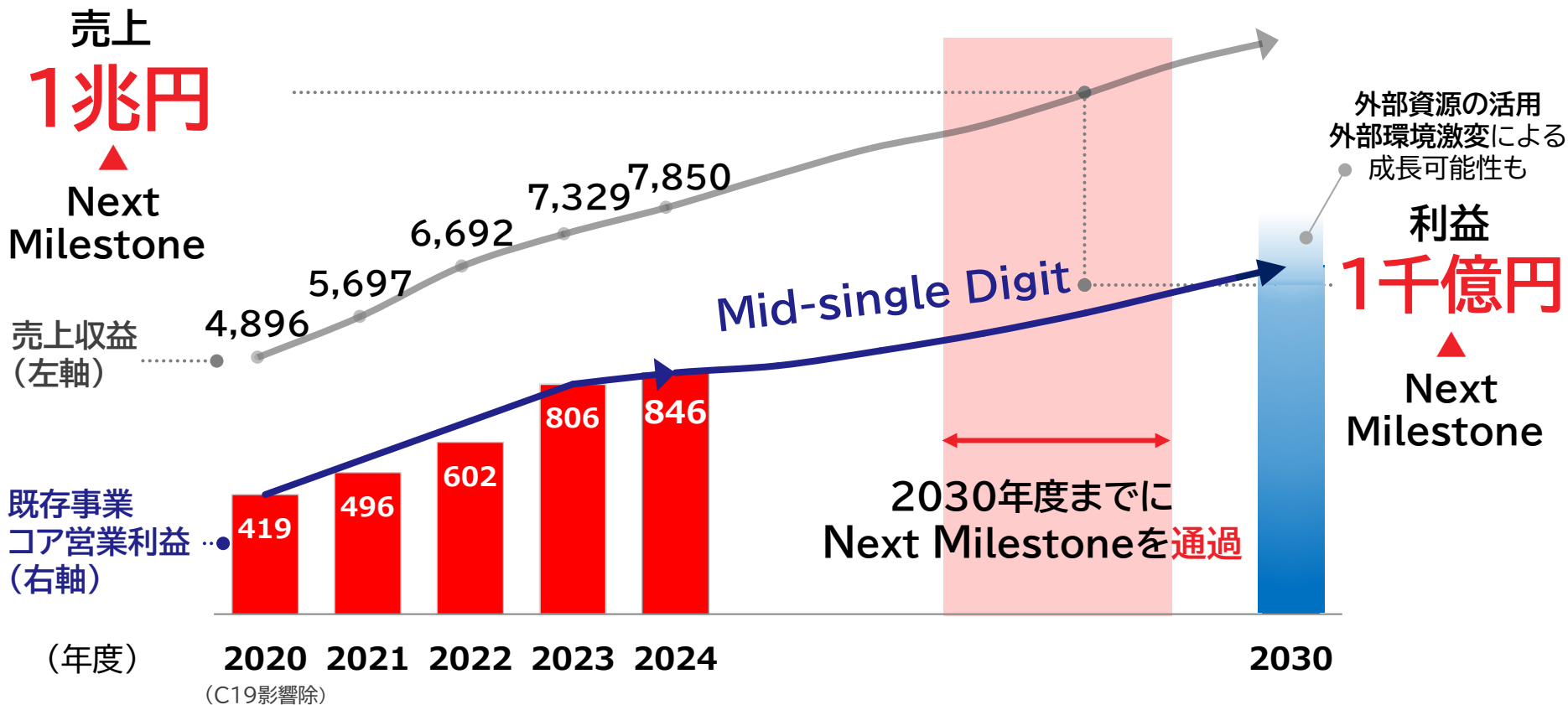
【海外】各社の増産体制の確立

【国内】各事業の製造拠点の競争力の強化





新・中長期成長戦略の成長イメージ





中長期成長戦略2030の骨子

既存事業のキャッシュ創出力強化

EARTH FOOD CHALLENGE 2030

新規事業の推進



目標と実績、主な取り組み(有効資源活用へのチャレンジ)

資源有効活用へのチャレンジ

2030年に向けた目標

直近実績

主な取り組み



持続可能なパーム油
100%

43.4%

2023年1月-12月

認証油調達
森林破壊リスクのモニタリング
小規模アブラヤシ農家とのダイアログ



水使用量
12.3m³以下

※IFRS売上収益100万円あたり

9.7m³*

2023年1月-12月



水の使用量を削減
水の再利用



生産過程の再資源化率
99.5%

※日本国内

99.8%

2023年1月-12月



飼料化、再資源化を継続



販売・流通過程の廃棄物
△50%

※15年度比/日本国内

△51.1%

2023年1月-12月



販売予測の精度向上
フードバンクの活用



目標と実績、主な取り組み(気候変動問題へのチャレンジ)

気候変動問題へのチャレンジ

2030年に向けた目標

直近実績

主な取り組み



CO₂排出削減:SCOPE1+2

20年比 $\Delta 42\%$

基準値:46.2万t-CO₂

$\Delta 16.1\%$

2023年1月-12月

38.8万t-CO₂

再生可能エネルギー由来の
電力への切り替え促進



CO₂排出削減:SCOPE3

20年比 $\Delta 25\%$

基準値:343.2万t-CO₂

$\Delta 2.3\%$

2023年1月-12月

335.3万t-CO₂

包材や具材の改良
持続可能なパーム油の使用拡大
環境に配慮した輸送



目標と実績、主な取り組み(気候変動問題へのチャレンジ)

気候変動問題へのチャレンジ

主な取り組み

バイオマス No.190078

CERTIFIED SUSTAINABLE PALM OIL™
RSPO MIXED
4-0968-17-100-00

フタ止めシール

OPEN

Wタスになりました!!

謎肉

カップヌードル
<http://cupnoodle.jp>

本品には碎内が ■ で塗られたアルミで包装されています。小麦粉が少量含まれています。



中長期成長戦略2030の骨子

既存事業のキャッシュ創出力強化

EARTH FOOD CHALLENGE 2030

新規事業の推進



完全メシ 100億円へ！



2025年度 **100億円**ブランドへ

(市場売価換算)

2022年度 実績 : 30億円

2023年度 実績 : 50億円

2024年度 計画 : 70億円

2025年度 計画 : 100億円

FUTURE
FOOD





ブランド理解の促進を図る

“タイパ、コスパ、カロパ”を訴求し喫食経験を拡大するフェーズへ

本スライドに掲載されているCM画像は
権利の関係上、グレーアウトしています。ご了承ください。



最適化栄養食の新たな価値創造へ！

最新の研究結果では、

複数の企業の社員食堂で臨床試験を実施

(平日朝・昼食のみ4週摂取。計40食)

体重、BMI、血圧、内臓脂肪等の

改善を確認





最適化栄養食の新たな価値創造へ！

最新の研究結果では、

高血糖や高血圧の方向け

減塩&低糖質、QOL(生活の質)の改善、
血糖値および血圧の低下を確認

シニアの方向け

たんぱく質、n-3系脂肪酸 等を強化
歩行速度、認知機能などの改善を確認



多彩なタッチポイントでの取り組みを着実に進行中！

1

パッケージフード

小売販売

お弁当・お惣菜・食材



2

社員食堂

健康経営の推進



3

医療連携

- ・食事制限のある方の生活習慣改善
- ・食のQOL改善



日清食品の
『栄養最適化
テクノロジー』
の多面展開

- ・高齢者の健康寿命の延伸
- ・介護負担の削減、医療費の削減



未病対策先進シティの実現



4

フレイル対策

5

スマートシティ

6

海外 / フードデザート問題の解決



2024年度 通期連結業績計画

	2024年度 計画 (単位：億円)	2023年度 実績 (単位：億円)
売上収益	7,850	7,329
既存事業コア営業利益	846	806
営業利益	760~800	734
当期利益	545~575	542

新規事業への積極先行投資：既存事業コア営業利益対比 5~10%

* 計画に係る円表示数値は全て23年度実績レート



日清食品ホールディングス株式会社